

【研究課題】

てんかんにおける脳活動と言語性記憶力との相関の検討

(国立大学法人 大阪大学医学部附属病院 臨床研究倫理審査委員会 承認番号 21076-2)

1. 対象

2021年5月15日～2024年3月31日の期間で、以下を満たすてんかん患者。

- A) 20～70歳までの大阪大学医学部附属病院に入院中で、臨床検査として脳磁図検査と WMS-R (Wechsler Memory Scale-Revised) を含むてんかん心理テストの予約が入っているてんかん患者。
- B) 20～70歳までの大阪大学医学部附属病院に外来通院中で、臨床検査として脳磁図検査と脳磁図検査実施日から前後6か月以内に WMS-R を実施したもしくは実施する予定のあるてんかん患者。ただし、脳磁図検査と WMS-R の実施日の間に開頭術など手術を行っていないこと。
- C) 20～70歳までの大阪大学医学部附属病院に入院中で、臨床検査として長時間ビデオ脳波モニタリングと WMS-R (Wechsler Memory Scale-Revised) を含むてんかん心理テストの予約が入っているてんかん患者。

2. 研究機関名

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

3. 目的

脳磁図という脳の電気活動を計測する装置を用いて、言語を考えているときの脳活動を計測し、その脳活動量と実際の言語記憶力テストの点数を比較することで、言語記憶力を推定できる脳活動を明らかにする。

4. 方法

言語課題時の脳活動を脳磁図により計測する。また、記憶力検査 (WMS-R) における言語性記憶力を表すサブスコアを算出し、脳活動の強度との相関を解析する。

5. 意義

現在、記憶力の検査は筆記や口頭により回答するテストにより実施されているが、所要時間も数時間にわたり、認知機能に障害を持っている患者にとって大きな負担となる。そこで、本研究により脳活動から実際の言語記憶力を推定できれば、従来の記憶力テストに代わる非常に簡便な言語能力検査法の確立に寄与するものと考えられる。

6. 個人情報の取り扱い

研究対象者のデータから氏名等の個人情報を削除し、代わりに新しく符合を付けて匿名化を行う。

7. 既存情報の利用について (オプトアウト)

① 情報の利用目的および利用方法

脳磁図という脳の電気活動を計測する装置を用いて、言語を考えているときの脳活動を計測し、その脳活動量と実際の言語記憶力テストの点数を比較することで、言語記憶力を推定できる脳活動を明らかにすることを目的とします。そこで、大阪大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会承認番号 17011、19035 の研究課題にご参加いただいたボランティアの方の脳磁図、MRI データ、および WMS-R のスコアを本研究課題にも利用させていただき、健常人データとして比較することでより信頼性のある結果を導きます。

② 利用する情報の項目

- ・ 脳磁図データ
- ・ MRI データ
- ・ WMS-R スコア
- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 利き手

③ 利用する者の範囲

研究責任者に限り利用します。

④ 情報の利用停止について

本研究へ情報の利用を拒否される場合は下記お問合せ先までご連絡ください。

⑤ お問い合わせ先

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2 番 15 号
荒木 俊彦
TEL : 06-6879-6618